

天龍木材㈱ 平成26年3月期・第2四半期累計決算の概要**1. 第2四半期累計(平成25年4月～9月)業績について**

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による金融及び各種経済対策の効果等により企業収益や個人消費が持ち直すなど、緩やかな回復基調にあります。円安による原材料価格の上昇や新興国の経済成長の鈍化が懸念されるなど、景気の先行き不透明感は依然として払拭されないまま推移しております。

住宅関連業界におきましては、住宅取得促進策の効果や復興関連需要等により、新設住宅着工戸数は49万9千戸(前年同四半期比12.7%増加)となり、持ち直しの動きがみられます。

このような事業環境のもと、当社グループは、「3ヶ年経営計画」の初年度として、更なる収益性並びに財務体質の改善のための諸施策に取り組みました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は90億2百万円(前年同四半期比9.7%増加)となりました。損益面では、営業利益69百万円(前年同四半期比54.8%減少)、経常損失47百万円(前年同四半期は経常利益47百万円)、四半期純損失56百万円(前年同四半期は四半期純利益50百万円)となりました。

(セグメント別業績)

木材事業につきましては、新設住宅着工戸数が前年同四半期に比べ増加したこと、針葉樹製品を主に販売エリアの拡大を図ったこと等から、全般的に取り扱い数量が増加したため、売上高が前年同四半期に比べ増加しました。この結果、売上高は、71億10百万円(前年同四半期比11.4%増加)、セグメント利益(営業利益)は、1億33百万円(前年同四半期比26.4%減少)となりました。

建材事業につきましては、新設住宅着工戸数が前年同四半期に比べ増加したこと、営業体制の強化及び取扱い商品の拡充を図ったこと等から、売上高が前年同四半期に比べ増加しました。この結果、売上高は、13億99百万円(前年同四半期比6.4%増加)、セグメント損失(営業損失)63百万円(前年同四半期はセグメント損失(営業損失)56百万円)となりました。

プレカット事業につきましては、地域密着の営業活動により受注を確保するとともに、住宅周辺業務の強化に努めましたが、売上高が前年同四半期に比べ減少しました。また、不動産賃貸事業は、計画どおりの収入・収益をあげることができました。この結果、売上高は、4億92百万円(前年同四半期比3.5%減少)、セグメント損失(営業損失)は、90万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)27百万円)となりました。

・業績比較表

(金額単位：百万円)

	当第2四半期(累計)	前第2四半期(累計)	増減額	増減率
売上高	9,002	8,207	795	9.7%
営業利益	69	152	△83	△54.8%
経常利益	△47	47	△94	-%
四半期純利益	△56	50	△106	-%

2. 通期業績予想について

通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

3. 当社株式に対する公開買付けについて

本日発表の「第2四半期決算短信」11ページから12ページをご覧ください。

以上